

親鸞さまの

【本文】

無碍光仏のみことには

未来の有 情利せんとして

大勢至菩薩に

智慧の念仏さづけしむ

【意識】

阿弥陀如来様(妨げるものがない光の仏様)の仰せには、次のようにあります。

未来の生きとし生ける者のために、救いの恵みを与えるべく

大勢至菩薩に

智慧の念仏を授けたのだよ、と。

【私の味わい】

小野市にある浄土寺には、阿弥陀如来様の左右にそれぞれ勢至菩薩様、観音菩薩様が安置されています。ご覧になられたことはありませんか。

これは、一見、仏様と菩薩様がお二方別々のように見えます。しかし、これは本来一体のものとして見る、阿弥陀如来様の智慧の面を勢至、慈悲の面を観音菩薩様が表していることを知っておく必要があります。なじみ深い阿弥陀経にも沢山の仏様が登場されますが、全て阿弥陀如来様の別表現であると捉えると宜しいでしょう。総じていえば、仏様は一つでもあり、多数でもあるということなのです。

また、このご和讃で大切なのは、智慧の念仏、つまり南無阿弥陀仏は人間の煩惱によつて妨げられない光、私たちの幸福を見通した仏様の智慧であるという所です。

極楽浄土には、なぜ金銀財宝、風光明媚な景色が描かれるのか。これを曇鸞大師という方が考えられました。そして、こう教えて下さるのです。人間の煩惱の眼には、金を宝、幸せとする方向に行きがちである。しかし、それは既に仏様が見抜いたうえで、敢えてそうされたに過ぎない。そして、段々と教えに誘うことによつてお念仏が、南無阿弥陀仏が宝であると人間が思えるよう極楽を設計されたのだ。仏様の私たちを見抜く智慧、本当の幸せへと導くその深慮は計り知れないなあ、と。

お念仏は、仏様が私を理解し尽くし、私の為を思つて用意して下さった結晶です。

聞かせて頂くこと、称えさせて頂くこと。いずれも感慨深いことです。(悠水)